

2026年6月29日

〈ニュースリリース〉

サントリーホールディングス株式会社
サントリービバレッジ&フード株式会社

サントリー九州熊本工場が 「くまもと環境大賞」「くまもと環境賞」受賞

— 両賞同時受賞は制度創設以来初 —



サントリー九州熊本工場は、熊本県が実施する環境表彰制度において、第4回「くまもと環境大賞」を受賞し、6月29日（月）に木村敬知事より表彰を受けました。本制度は、環境保全・創造に顕著な功績のあった団体を表彰するもので、1992年に創設された「くまもと環境賞」と、同賞の受賞者を対象に4年に一度最高位として表彰する「くまもと環境大賞」により構成されています。

今回、当工場は第35回「くまもと環境賞（くまもと循環型社会賞）」を受賞しており、「くまもと環境大賞」との同時受賞は初の事例となります。なお、当工場は2015年に「くまもと環境賞（くまもと水の国賞）」、2018年に「くまもと環境大賞」を受賞しています。

サントリー九州熊本工場は、2003年に名水の地として名高い嘉島町に開設され、阿蘇の地下水を使用し、現在はミネラルウォーター、清涼飲料、ビール類などを製造する飲料・酒類のハイブリッド工場として、多くの製品を製造しています。熊本の豊かな地下水と自然環境を守りながら事業活動を行うべく、グループ一丸となってサステナビリティ活動に取り組んでいます。水資源分野では、工場における高度な取排水・水質管理に加え、「サントリー 天然水の森」、冬水田んぼ^{*}などの活動を20年以上にわたり継続し、水源涵養に取り組んできました。こうした流域全体にわたる取り組みが評価され、持続可能な水利用に関する国際認証「Alliance for Water Stewardship (AWS) 認証」の最高位である「Platinum」を日本で初めて取得しています(ニュースリリース No.14327 参照)。また、資源循環分野においても、県内多くの自治体との連携を通じ「ボトル to ボトル」水平リサイクルの推進に取り組んでいます。

※休耕田に水を張る農法で、肥沃土の生成や雑草の減少、地下水涵養が期待されている。当グループは2010年から行政や地域の協力のもと上益城郡益城町にて活動を実施。

今回の受賞は、以上のようなサステナビリティ活動が総合的に評価されたものです。サントリーグループは、自然と水の恵みに生かされる企業として、「人と自然と響きあい、豊かな生活文化を創造し、『人間の生命(いのち)の輝き』をめざす。」をパーパスに掲げ、創業以来、持続可能な社会の実現に取り組んできました。今後もグループ一丸となった取り組みに加え、地域の皆様をはじめとするステークホルダーとの連携を通じ、サステナビリティ経営を推進していきます。

●サントリー株式会社 サントリー九州熊本工場長 岩沢 修之 コメント

サントリー九州熊本工場は、熊本の豊かな地下水と自然の恵みがあってこそ、高品質で安全・安心な製品をお客様にお届けすることができています。今回、長年の取り組みを両賞同時受賞という形で評価いただいたことを大変光栄に思います。今後も地域の皆様と連携しながら、熊本の自然環境を守り、この地で生まれる製品を通じて、人々の生活の豊かさに貢献していくことを目指します。

▼サントリーグループのサステナビリティ

<https://www.suntory.co.jp/sustainability/>

▼サントリー九州熊本工場 ホームページ

<https://www.suntory.co.jp/factory/kyushu-kumamoto/index.html>

水と生きる SUNTORY

以 上

自然と水の恵みに生かされる企業として、貴重な水資源を守ること。
さまざまな企業活動を通じて社会に潤いをもたらす、社会にとっての水であること。
社員一人ひとりが水のように自在にしなやかに挑戦できる会社であること。
「人間の生命(いのち)の輝き」をめざす想いを、「水」に託して伝えるメッセージです。